

赤字：R6年度に新規追加した指標
青字：R5年度に新規追加した指標

参考資料2
基本戦略5

基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素	指標区分			指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	指標の選定基準						
			大区分	小区分	細区分				目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性(過去)	継続性(将来)	判定	評価に関する備考
基本戦略5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進	状態目標5-1 生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツールが様々なセクターで活用されるとともに、生物多様性を考慮した空間計画下に置き、多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている	生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	NBSAP指標	生物多様性地域戦略データベースダウンロード数・アクセス数	HPよりダウンロードされた数、アクセスされた数を集計する。(毎年)	○	○	○	×	○	B	
		生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	NBSAP指標	モニタリングサイト1000ダウンロード数・アクセス数	HPよりダウンロードされた数、アクセスされた数を集計する。(毎年)	○	○	○	○	○	A	
		生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	NBSAP指標	河川水辺の国勢調査DBダウンロード数・アクセス数	HPよりダウンロードされた数、アクセスされた数を集計する。(毎年)	○	○	○	○	○	A	
		生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	NBSAP指標	自然環境保全基礎調査ダウンロード数・アクセス数	HPよりダウンロードされた数、アクセスされた数を集計する。(毎年)	○	○	○	○	○	A	
		生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	新規	地球規模生物多様性情報機構（GBIF）データベースへの日本からの登録数	GBIFデータベースに日本から登録されたデータ数を集計	○	○	○	○	○	A	
		生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツール	情報基盤の整備と活用	－	－	新規（委員照会）	海洋生物多様性情報システム（OBIS）データベースへの日本からの登録数	OBISデータベースに日本から登録されたデータ数を集計	○	○	○	×	×	B	経年変化が終えるかを要確認
		生物多様性を考慮した空間計画下に置き	計画策定	－	－	GBFヘッドライン指標	1.1 Percent of land and seas covered by biodiversity-inclusive spatial plans* 生物多様性保全のための空間計画に含まれる陸域および海域の割合*		○	○	○	×	○	B	
		生物多様性を考慮した空間計画下に置き	計画策定	－	－	NBSAP指標	生物多様性地域戦略策定地方公共団体の割合	LBSAPデータベースにより集計する。（随時）	○	○	○	○	○	A	
		生物多様性を考慮した空間計画下に置き	計画策定	－	－	NBSAP指標	生物多様性国家戦略2023-2030の策定を踏まえ、生物多様性地域戦略を改定した地方公共団体の割合	LBSAPデータベースにより、生物多様性国家戦略2023-2030の策定期限以降に改定した地方公共団体を集計する。（随時）	○	○	○	×	○	A	現戦略策定後を基準とした指標であるため、継続性は×でB指標となるが、目標への整合性や将来的な継続性を踏まえてA指標と判断した
		多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている	活動	－	－	JBO3指標	E4-1-1 環境保全を図るNPO法人数の推移	内閣府ホームページより数値を取得	△	○	○	○	○	C	環境保全は生物多様性分野に限られないため
		多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている	活動	－	－	新規（委員照会）	自然再生協議会の設置数及び自然再生事業実施計画の策定数	環境省ホームページより数値を取得	○	○	○	×	○	B	行動目標に近い指標であるが自主的な取組であるとして、目標への整合性は○とした。
		多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている	活動	－	－	JBO3指標	E4-2-3 地方公共団体の環境関連部局職員数の推移	環境省及び総務省ホームページより数値を取得	△	○	○	○	○	C	対象として公害部局、清掃部局、環境保全部局職員としており、所管が生物多様性分野に限られないため
	状態目標5-2 世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	公的資金	－	－	GBFヘッドライン指標	D.1 International public funding, including official development assistance (ODA) for conservation and sustainable use of biodiversity and ecosystems 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する政府開発援助		○	○	○	○	○	A	
		世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	公的資金	－	－	新規	生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国外の公的資金	第二期JBFへの拠出金	○	○	○	○	○	A	
		世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	公的資金	－	－	GBFヘッドライン指標	D.2 Domestic public funding on conservation and sustainable use of biodiversity and ecosystems 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国内の公的資金		○	○	○	○	○	A	
		世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	公的資金	－	－	新規	生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国内の公的資金	毎年概算要求に合わせ、環境保全経費を取りまとめ報道発表しているので、これを活用する(毎年)	○	○	○	○	○	A	
		世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	民間資金	－	－	GBFヘッドライン指標	D.3 Private funding (domestic and international) on conservation and sustainable use of biodiversity and ecosystems* 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する民間資金（国内および国際的なもの）*		○	○	○	○	○	A	
		我が国による途上国支援による能力構築等が進み、その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている	能力構築	－	－	NBSAP指標	自然環境保全を担う途上国機関の体制強化、人材育成人数	JICA（企画部・総合企画課）にて数値管理（頻度は毎年度末に集計）	○	○	○	○	○	A	
	状態目標5-3 我が国による途上国支援による能力構築等が進み、その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている	我が国による途上国支援による能力構築等が進み、その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている	能力構築	－	－	新規	自然環境保全分野の途上国支援プロジェクト数	JICAの「自然環境保全」分野のプロジェクトについて、プロジェクト開始年月を基準に年ごとに集計する	○	○	○	○	○	A	
		その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている	計画策定	－	－	NBSAP指標	生物多様性日本基金（JBF2）による支援を受けた国の生物多様性国家戦略改定数	【把握方法未定】（毎年）	○	○	○	○	○	A	